

じょーもぴあ宮畑サポートネットワークってなに？

じょーもぴあ宮畑サポートネットワークでは、史跡公園・じょーもぴあ宮畑を保護し、これからの世代に残していくための支援活動や、その特性を生かした活用事業を行っています。

じょーもぴあ宮畑をふるさと福島の自慢のひとつとして、また個性豊かなまちづくりとしての活用を図るため、市民のみなさんと協働による活動としてじょーもぴあ宮畑サポートネットワークが組織されました。

じょーもぴあ宮畑サポートネットワークには3つの協力会があり、その中で目的に応じて部会

を開催しています。

各部会では地域と一緒にイベントを行ったり、ワークショップや体験活動を通して市民の方や子どもたちに縄文人の暮らしを伝えます。

また、市内観光資源と連携してじょーもぴあ宮畑のPR活動をしていきます。

みんなでじょーもぴあ宮畑を盛りあげているよ！



じょーもぴあ宮畑 サポートネットワーク

公開・発信・活用協力

ガイド・ワークショップ部会

じょーもぴあ宮畑における屋外展示のガイド、縄文時代に関わるワークショップの運営、行事や活動の広報・宣伝を行います。

体験サポート部会

縄文体験（火起こし、弓矢体験など）、もの作り（勾玉作り、土偶作りなど）のサポート、縄文体験に関わる道具の製作をします。

研修部会

年度別に縄文時代に関するテーマを設けて、テーマに沿った自主研修を実施し、その成果をもとに活用事業を行います。

東部・大波協力会

イベント部会

じょーもぴあ宮畑の特性を生かした地区行事を開催します。また、じょーもぴあ宮畑のPR活動を行います。

育成部会

じょーもぴあ宮畑の特性を生かした子供を対象とした行事を開催します。

観光・物産販売部会

地区の特産品を生かし、観光資源との連携を図りながら、じょーもぴあ宮畑の活用を目指します。

じょーもぴあ宮畑協会

自然環境・文化活動部会

自然観察会などを実施し、じょーもぴあ宮畑を舞台とした文化活動を展開していきます。

観光・まちづくり部会

福島のまちづくり事業・都市間交流事業と連携し、じょーもぴあ宮畑と福島のPRをします。



編集後記

ようやく…ようやく、じょーもぴあ宮畑だよりの発行となりました！ここまでが本当に長い道のりでした…。これから、じょーもぴあ宮畑の情報をたくさんお届けしていきますので、楽しみにしてくださいね。



直径90cm！
宮畑遺跡のシンボル
「掘立柱」

みやはいせき 宮畑遺跡ってどんなところ？

宮畑遺跡は福島市岡島地区、月輪小学校の東にある福島工業団地の入り口にあります。今から数千年前の縄文時代、ここには宮畑縄文人がむらをつくって暮らしていました。

巨大な柱のあと

宮畑遺跡の大きな特徴は、ドーナツ型にならない掘立柱建物という建物のあとです。掘立柱建物は、家や倉庫、あるいはまつりなどに使われた特別な建物と考えられています。中には全国でも最大級の直径90cmの柱を使った建物も存在しています。

この建物の外側では、うめがめ埋嚢とよばれる子どものお墓がたくさん見つかっています。縄文時代には今のように病院がなく、多くの子どもが大人にな



る前に死んだのではないかとわれています。子どもの墓は、むらの決められた場所にあったようです。

宮畑遺跡に残るなぞ

宮畑遺跡には縄文時代中期には大きなむらがありました。このむらの半分近くの家が焼かれていま



した。全国の他の縄文むらでは、このように多くの家が焼けたむらは発見されていません。なぜ宮畑遺跡のむらの家は焼かれていたのでしょうか。その原因はまだわかっていません。

史跡 宮畑遺跡



じょーもぴあ宮畑だよりの

創刊号
平成22年7月

発行：じょーもぴあ宮畑サポートネットワーク
編集：公開・発信・活用協力会
ガイドワークショップ部会 編集班

事務局：福島市教育委員会 文化課
〒960-8601 福島市五老内町3番1号
☎024-535-1111 内線5375・5376

じょーもぴあとは「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です

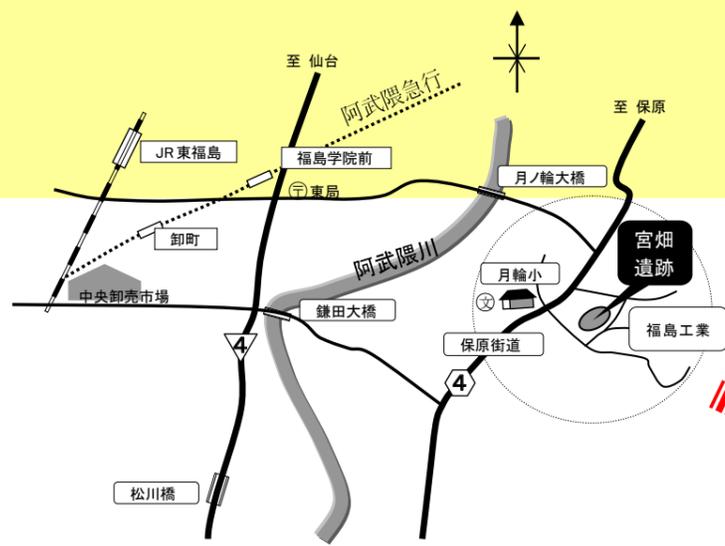
「じょーもぴあ宮畑だよりの」創刊号が発行されますこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、国史跡宮畑遺跡につきましては、平成19年度より環境整備事業に着手し、平成26年度に全面オープンする計画であります。また、市民の皆様との協働による活用の取り組みを進めるため、昨年「じょーもぴあ宮畑サポートネットワーク」を設立したところであります。

本市といたしましては、宮畑遺跡は学術的な活用のみならず、公園としての特性を生かした地域の活性化、まちづくり、観光振興等での活用を図ることができるものと期待しております。

このたび、「じょーもぴあ宮畑だよりの」が発行されますことは誠に喜ばしいことであり、今後とも、福島市、そして市民の皆様が全国に誇ることができるじょーもぴあ宮畑の実現に向けたさまざまな活動が推進されることを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

福島市長 瀬戸孝則



これまでの宮畑遺跡の発掘・整備

平成6年	宮畑遺跡試掘調査開始
平成7年	第1次発掘調査(福島工業団地造成関連)
平成8年	第2次発掘調査(福島工業団地造成関連)
平成9年	第3次発掘調査(福島工業団地造成関連)
平成10年	範囲確認調査
平成11年	範囲確認調査
平成12年	範囲確認調査
平成13年	範囲確認調査
平成14年	範囲確認調査概報刊行
平成15年	国史跡指定(平成15年8月27日)
平成16年	整備のための発掘調査 基本構想
平成17年	整備のための発掘調査 基本設計
平成18年	整備のための発掘調査 実施設計
平成19年	整備のための発掘調査 環境整備工事の開始
平成20年	整備のための発掘調査 植栽工事開始
平成21年	屋外展示整備(掘立柱建物2棟、埋甕1群) 植栽工事
平成22年	体験学習施設及び屋内展示実施設計 屋外展示整備(掘立柱建物1棟) 露出展示(土器捨場)覆屋建設工事
平成23年	体験学習施設建設工事 屋外展示設備(掘立柱建物1棟、竪穴住居1棟、 敷石住居1棟、埋甕3群) 露出展示安定化処理 南側駐車場整備
平成24年	北側整備工事(遊び場、炊事場など) 体験学習施設屋内展示
平成25年	北側整備工事(遊び場、炊事場など)
平成26年	じょーもぴあ宮畑オープン

じょーもぴあ宮畑の
詳しいパンフレット
があります。
福島市教育委員会
文化課までお問い
合わせください。



**じょーもぴあ宮畑
整備内容**



屋外の展示施設
縄文時代の建物(竪穴住居、
掘立柱建物)や生活の様子を
屋外に復元するエリアです。



多目的活用地区
縄文時代の川や森を整備する
エリアです。また、遊具や小さな
山のある子供用の遊び場、
芋煮などのできる炊事場などが
できあがります。



湿地
宮畑遺跡で発見された縄文時代の
湿地を復元したもので、
ショウブ・ハナショウブなど
の花を植えています。
水は東根堰から引いています。



縄文の森
縄文の森には、縄文時代に
存在したクリやトチノキなど
の樹木や、色あざやかな花
などを植えています。



体験学習施設
宮畑縄文人の生活の様子を
伝える展示室、もの作りや
調理のできる体験工房、
展示やコンサートのできる
エントランスホールができ
あがります。

